

J A M 政策NEWS

2006年12月18日 第2007-17号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : syakai@jam-union.jp

2007年日本をイメージする漢字の1位は「不安」 連合のインターネットアンケート調査で

連合は、12月4日から8日まで、20代から60代の全国3,000人の男女にインターネットによる「格差に関する意識調査」を実施しました。

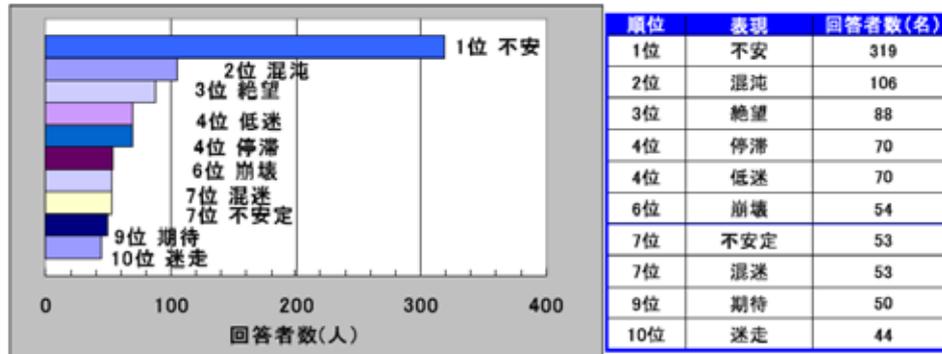
このなかで、「来年の日本を感じて表現するとしたら、どのような表現を思い浮かべますか」という問いを実施したところ、1位が「不安」、2位が「混沌」、3位が「絶望」という結果がえられました。景気回復と言われているその裏側で、市民の不安が広がっていることを如実に示

す結果となっています。

また「今後格差の拡大が進むとしたら、社会はどうかと思いますか」との問いに対しては、「適切な医療・介護を受けられなくなる人が増える」が60.3%(複数回答)で1位となるなど、生活に直結した不安が多くあげられました。

この調査の詳細な報告は、12月下旬に発表されることになっています。

Q. 来年の日本を漢字で表現するとしたら、どのような表現を思いかけますか？



上表は、上位10位までの漢字表現と回答者数です。9位の「期待」以外は非常に暗い印象を与える表現となっております。さらに、30位までみると、11位「希望」と24位「安定」以外は、14位「破壊」、16位「荒廃」、18位「忍耐」など暗いイメージを想起させる漢字が占める結果となりました。

Q. 今後格差の拡大が進むとしたら、社会はどうかと思いますか。(複数回答可)

